

学校教育目標

「いい顔 ・ いい声 ・ いい動き」

「やる気とやさしい顔 ・ 人の心にやさしい声 ・ 自分で気付き、考え、正しく判断した動き」

学校経営の基本方針

**夢と志をもち、主体的に行動し、使命を果たす子どもの育成
魅力的で活気に満ちた教職員
小中連携し、家庭・地域とともにある学校**

学校像	子ども像	教職員像
・ やり抜く力を育てる学校	・ 夢いっぱい、志をもって頑張る子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲と情熱を持つ教職員 ・ 個に応じた指導ができる教職員 ・ 不易と流行を生かせる教職員
・ 知的な学校	・ やる気いっぱい、進んで学ぶ子ども	
・ 居心地のいい学校	・ 笑顔いっぱい、優しい子ども	
・ 元気な学校	・ 元気いっぱい、たくましい子ども	

**9年間を見据えた小中連携や家庭・地域連携による
かしま愛の育成を根底として**

令和8年度 教育の重点目標（具体的方策）

項目	重点取り組み内容	本年度の具体的な取り組み
①学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○45分完結と基礎基本学力の定着 ○一人1台端末を活用した授業改善（ICTの利活用） ○教員の授業力向上 ○自ら探求する課題の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴール像が明確で、めあてとまとめ、振り返りの授業を徹底する。 ・ 単元や授業の流れの可視化、評価の共有などを通して、児童にとって個別最適で協働的に学ぶ環境を作る。 ・ 学び合いなど、だれ1人見捨てない授業を実践する。 ・ 関心のある内容や活用力を要する課題や自学を勧め、まとめる力を付ける。
②心の教育 (いじめ防止)	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感が高く思いやりにあふれる児童育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割、出番、承認の開発的生徒指導と道徳教育、人権・同和教育を核とした授業や学級経営を行う。 ・ 実行委員制により、行事等で、自分がやるべき事と他者のために行動する主体的な態度を育てる。

	○いじめの未然防止、早期発見・解決、再発防止	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心のアンケートや法によるいじめの定義の職員への徹底を図り、児童が安心・安全な学校生活を送れるようにする。
③健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の徹底 ○防災教育の推進 ○食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と協力し、「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みの徹底を図る。 自分の身を自分で守る大切さや落ち着いて行動する態度を育てる。 栄養教諭や養護教諭と連携し、食の大切さや世界の状況を理解させる指導を行う。
④業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革の本質の徹底 ○時間外勤務上限の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 行事や会議を効率的で効果的に削減、凝縮し、子どもと向き合う時間を確保する。 家庭・地域に対し、教員の本務に専念できる環境作りへの協力・連携を依頼する。 「ON/OFF」の切り替えができ、活気に満ちた状態で働く姿を児童に見せるよう、メリハリをつけた業務遂行を行う。 定時退勤日を設け、全員が確実に実施する。 業務に注力する内容の軽重を考慮することにより、個人の勤務超過時間を平均40時間以内にする。
⑤学校独自の項目	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の充実と拡散 ○地域連携による共育 ○小中連携による研究 	<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育の視点で通常学級でも誰もが安心して過ごせる授業や学級経営を行う。 個別の指導計画及び特別な教育課程の詳細な立案により、支援を要する児童への個に応じた対応を徹底する。 全職員で全児童を育てるために、児童の情報共有と指導の方向性の確認を行う。 PTA や地域の人・団体・企業の力を活用して、体験的な活動を実施し、鹿島を誇りに思う児童を育てる。 西部中校区におけるつなぎつながる9年間の学びや育ちの系統を探る。